

ツール#13 作業グループ・委員会登録用紙

アクティブ・パートナーになろう

イリノイ州公衆衛生局は、州規模の CCC 計画プロセスにあなたが参加されますことを心よりお待ちしております。

次のいずれかの作業グループの一員を務めることにより、このプロセスの活動メンバーとなることをご検討下さい。

II **公共教育とアウトリーチ**

(がん情報資源・教材の利用可能性、教育戦略と介入、適切な健康教育モデルの利用)

II **政策とインフラストラクチャー**

(現行の政策と立法、唱道の取り組み、阻害要因と戦略)

II **データとサーベイランス**

(既存および潜在的な州規模のデータソース、サーベイランス計画)

II **質の保証**

(システムの構成要素の質と完全性)

作業グループは2ヶ月に1回会合を持ちます。希望される会議の場所をお選び下さい。

シカゴ スプリングフィールド その他(具体的に) _____

氏名: _____ 肩書き: _____

所属機関: _____

住所: _____

電話番号: _____ ファックス: _____

電子メール: _____

作業グループの第1回会議は1998年11月を予定しています。IDPHの職員が各作業グループのメンバーと相談して会議の日時を調整します。

1998年10月30日金曜日までに以下宛てに用紙をご返信下さい。

XXXXXXXXXXXX

Illinois Department of Public Health

535 W. Jefferson St.

Springfield, Illinois 62761

FAX (XXX) XXX-XXXX

ご協力ありがとうございました。

ツール#14「計画パートナー調査」

このツールは、調整担当機関が計画主体のメンバーおよび計画プロセスに参加する他の利害関係者についての情報を集めるのに利用する。パートナー調査で集まる情報にはつぎのようなものがある。

専門分野と関連する経験

計画と実施のための資源（金銭または現物）

がん予防・管理の優先事項に関する意見

CCC 計画の取り組みの必要性に関する意見

がん予防・管理のニーズおよび資産に関するアイデア

CCC 計画プロセスおよびアウトカムに対する期待

計画プロセスへの参加に対する関心および意志。およびどのような立場で参加するか。

アンケートで集まる情報は、計画調整担当者として計画担当メンバーが計画策定のプロセスを綿密に打ち出し、計画構成要素の実施に向けて準備する際に役立てることができる。

ここに紹介する2つの例は、この情報を集めるための2つの異なる手法を示している。ツール#14aの「CCC 計画パートナー調査」は、アーカンソー、イリノイ、ケンタッキーで用いたパートナー調査アンケートを混合したものである。このアンケートは比較的短いもので、少ない数の自由回答式の質問を用いている。この種のアンケートの場合、回答者は自分が適当と思ったことを自分の言葉で答えることができる。

2番目のツール#14b「ユタ CCC 組織関心度調査アンケート」は、ユタ州の調整担当機関が策定して使用したものである。このアンケートはより構造化されて選択方式の質問を使用し、質問数も多く、より幅広いテーマを扱っている。ユタ州のアンケートはツールキットの本セクションで述べた関心度調査用紙の要素も組み込んでおり、回答者に計画プロセスへの参加の関心と意志を尋ねたり、ほかに参加すべき利害関係者がいれば推薦するよう要請したりしている。

モデル計画州では、こうしたアンケートは一般に、調整担当機関が最初の活動の準備をする計画の取り組みの初期の段階で配布された。調査結果をまとめ、記入済みの「州の CCC 計画のための能力の自己アセスメント」（ツールキットのインフラストラクチャー強化のセクション参照）と一緒に計画参加者に配布することによって、州のがん予防・管理の状況をメンバーに教えることができる。

ツール#14a CCC 計画パートナー調査

CCCは「予防、早期発見、治療、リハビリテーション、緩和ケアを通じてがんの発生率、罹患率、死亡率を低減するための統合的かつ協調的アプローチ」と定義されています。[州・準州・部族名を入れる]で包括的ながん対策を開始するためには、こうした取り組みの計画、実施、評価に力を注ぐパートナーの存在が不可欠です。[州・準州・部族名を入れる]のCCC計画プロセスが成功するかどうかは、自らの専門知識、資源、経験を進んで共有しようとする多様なパートナーの参加と関与にかかっています。

お手数ですが、[州・準州・部族名を入れる]におけるCCC計画の取り組みに対するあなたの考え方と期待することについて、次の質問にお答え下さい。

1. がんの予防・管理における[州・準州・部族名を入れる]の最大の強みは何ですか？
2. [州・準州・部族名を入れる]のがん予防・管理を改善するためにあなたが1つ変えることができるとすれば、それは何でしょうか？
3. 主要ながん関連の優先事項で、[州・準州・部族名を入れる]でもっと包括的に取り組む必要があると思うものは何ですか？ 2つ挙げて下さい。
4. 貴組織の有する経験、資源、および/または専門分野で、この取り組みに貢献するものは何ですか？（例、事務サポート、財源、職員の時間と専門技術など）
5. [州・準州・部族名を入れる]において包括的ながんに取り組もうとするこの取り組みに対して、あなたは何を期待しますか？

6. あなたの職業を最もよく表す項目に印を付けて下さい。

医師	地域団体
看護師	その他の保健医療提供者
健康教育士	衛生行政官
がん生存者	政府職員
がん登録官	その他：具体的にお書き下さい_____

7. [州・準州・部族名を入れる]のがん管理計画の草案を検討する際にコンサルタントとして参加する意志はありますか？ ある場合、あなたの氏名、住所、電話番号、電子メールアドレスをこの調査用紙の裏側にご記入下さい。ご協力大変ありがとうございます。

ツール#14b ユタ CCC 組織関心度アンケート

(全て記入して下さい)

組織名 _____ 担当者氏名 _____
住所 _____ 電話 _____
_____ 電子メール _____

- Q-1 あなたまたはあなたの組織のがんに関する特定の関心分野または専門分野は何ですか？
- Q-2 がん対策について州規模の総合計画が必要だと思いますか？（番号を○で囲む）
1. はい
 2. いいえ
- (答えの理由)
- Q-3 あなた及びあなたの組織にとって州の計画に価値があるとすれば、どのようなものですか？（該当するもの全てを○で囲む）
1. 自分自身の計画を策定するための枠組みが得られる
 2. 自分の組織内の認知と教育が向上する
 3. 組織間のサービスの調整が改善する
 4. サービスの格差が同定される
 5. その他（詳しくお書き下さい）
- Q-4 あなたまたはあなたの組織は、がん対策のための総合計画を策定するイニシアティブにおいてどのような援助を提供できますか？（該当するもの全てを○で囲む）
1. がん関連データへのアクセス
 2. がん関連組織とのネットワークの構築
 3. 治療の専門知識・技術
 4. 特別な集団の経験、その集団へのアクセス
 5. 予防の専門知識・技術
 6. 会議用施設
 7. 患者の視点に関する知識
 8. その他（具体的にあげて下さい）
- Q-5 貴組織の戦略計画の中で、がん対策を特に取り上げていますか？（番号を○で囲む）
1. はい
 2. いいえ

ツール#14b (続き)

Q-6 質問5で「いいえ」と答えた場合、今後がん対策向けの戦略計画を策定する予定がありますか？ (番号を○で囲む)

1. はい
2. いいえ

Q-7 あなたの考えでは、ユタ州におけるがん関連の問題について、取り組みの改善が必要と思われるものは何ですか？ (該当するもの全てを○で囲む)

1. 公共教育
2. 専門家教育
3. 立法
4. サービスへのアクセス
5. サーベイランスの改善
6. 資金調達
7. その他 (具体的にあげてください)

Q-8 あなたの考えでは、がん対策におけるユタ州最大の強みは何ですか？

Q-9 あなたの考えでは、がん対策におけるユタ州最大の弱点は何ですか？

Q-10 あなたまたはあなたの組織がこのイニシアティブに参加するとした場合、貴組織は具体的にどのような恩恵を受けることを期待しますか？

Q-11 ユタ州におけるがん予防・管理を改善するためにあなたが1つ変えることができるとすれば、それは何でしょうか？

Q-12 あなたまたは組織のどなたかに、CCC計画の策定を助けるために委員会または作業グループに参加しようという意志はありますか？ (番号を○で囲む)

1. はい
2. いいえ

Q-13 ほかにどのような組織、グループ、個人がこの取り組みに関与すべきだと思いますか？ (具体的にあげてください)

組織名

担当者

電話番号

- 1.
- 2.
- 3.

ご協力ありがとうございました。

ツール#15「CCC 計画策定のための構造とプロセスの提案」

このツールは、CCC 計画策定のための構造とプロセスに関して、計画主体内の議論を活性化しコンセンサスを得るために利用する。ここで紹介する例は、メイン州の調整担当機関が州内の最初の計画会議中に策定して使用したもので、1 ページ分の図表になっている。図表では、計画の段階案、各段階に関与するグループとその役割、それらの段階で行われる活動が説明されている。図表の示している概念は、利害関係者の小グループ（コア計画チームを含む）内で行われたブレインストーミングの結果できあがったものである。このグループの成果物は議論を活性化するために計画主体の第1回会議で提示され、どのように進めていくかについてコンセンサスを得た。このツールは、計画プロセスにおいて参加者になにが期待できるかについての共通理解を促し、計画主体内の結束意識を高めるのに役立った。メイン州では計画プロセスの進行にともない計画主体内で新たな議論がもたれ、構造とプロセスが進化した（修正された側面もあれば、より詳細かつ具体的に運用された側面もあった）。

このツールは、視覚的な表示（論理モデル、表、ダイアグラム）を利用することによって大きなグループにアイデアを伝え、討議と意思決定の促進を図る好例である。このような意思疎通はあらゆる計画プロセスの重要な構成要素であり、同様の目的に多種多様な視覚的表示が利用できる。

ツール#15 CCC 計画策定のための構造とプロセスの提案 (メーン州 : 1999 年 6 月 8 日)

I. 準備	グループ:	役割:	活動:
1998 年 3 月	保健局	1. CDC の (ケーススタディの) 選抜を受け入れる	CDC、パテルによる評価
1999 年 3 月	がん予防・管理諮問委員会との共同	2. パテル研究グループと協働する 3. CDC の予防専門家を雇用する	1999 年 4 月会議
II. 計画の策定	<p>保健局</p> <p>↓</p> <p>コンソーシアム</p> <p>参加を誓約したメーン州の人の利害を代表する組織・個人</p> <p>↓</p> <p>調整委員会 保健局、共同議長 ACS スタッフ</p> <p>↓</p> <p>作業グループ (コンソーシアム内外の) リーダーシップを指定された専門知識・資源をもつ組織・個人</p>	<p>1. 取り組みを開始する</p> <p>2. コンソーシアムを結成し、2 名の共同議長の任命する</p> <p>1. メーン州におけるがんに対する戦略的アプローチを策定する</p> <p>2. 戦略の要素 (作業グループ) を代表する人々・組織を任命する</p> <p>3. 作業グループがデータと優先事項を提示するのにもない、コンソーシアムは進捗状況の報告を受け、指導と意見を提供する</p> <p>4. 作業グループの最終報告を受け、優先順位を最終決定する</p> <p>1. プロセスの決定を下す</p> <p>2. 調整、円滑化</p> <p>3. コンソーシアムのために課題の第一段階のレビューをする</p> <p>1. 上記に特定の内容分野に対する根拠を開発する</p> <p>2. 特定分野における優先事項に関してコンソーシアムに勧告する</p>	<p>1999 年 6 月会議</p> <p>3~4 ヶ月ごとの運営委員会、作業グループ会議の開催</p> <p>毎月の会議の開催</p> <p>最終報告まで会議・カンファレンスの召集</p>
計画完成			
2001 年 1 月			
III. 計画の実施			
IV. 進捗の評価			

5.0 がんの負荷のアセスメントと対処

このセクションで紹介するツール

ツール#16「課題声明書作成ガイド」

ツール#17「達成目標リトマス試験」

ツール#18「目標および達成目標を選ぶための投票用紙」

ツール#19「利害関係者および地域への情報提供データマップ」

このセクションで紹介するサンプルツールは、包括的計画主体のメンバーが自分の州におけるがんの負荷をアセスメントおよび評価し、その負荷に対処するための目標、達成目標、戦略を策定して選択するときに役立つ。この間に計画主体が生み出す情報と資料は計画そのものの土台を形成し、計画をアセスメント可能なものにするという意味において、負荷のアセスメントと対処は計画プロセスにとってきわめて重要な段階なのである。この段階の活動は、計画プロセスの協働と参加の性質を強化し、参加者の間に強い当事者意識を生み出すことができる。

ツール#16「課題声明書作成ガイド」

このセクションのツールは、ある州におけるがんの負荷に関する課題または問題声明書を作成するのに利用される。このセクションで紹介する最初のツール（ツール16）「課題声明書作成ガイド」は、メイン、カンザス、ユタの各州で用いた類似ツールを混合したものである。最初にメイン州がツールを策定して使用し、後にカンザス州とユタ州がそれを借りて自州用に手直しして使用した。

課題声明書作成ガイド（ツール#16）は、作業グループや委員会が多少の経験的根拠の基礎をともなって首尾一貫した綿密な課題声明書を作成するのを助けるために作られたワークシートである。注目すべきは、このワークシートを使う際には、課題または問題を同定した根拠を述べ、同定に用いたデータソースを記載し、声明書を裏付ける具体的なデータを提供しなければならない点である。このワークシートはまた、課題の対象となる集団について使用者に考えさせ、取り組みに影響する可能性のある課題の側面を検討するよう促すものである。記入し終えた課題声明書は、定義された問題に対処するための目標、達成目標、戦略を選択するという次のステップの基礎として役立つ。モデル計画州においては、プロセスの次の段階に進む前に課題声明書が計画主体に提示され、再検討と議論を経るのが一般的だった。

このツールは、ある州においてがんの負荷をアセスメントし定義し、次にそこで得たアセスメントを利用してがんの負荷に対処するための目標、達成目標、戦略を策定するという全体的なプロセスの1つの側面を表している。

ツール#16 課題声明書作成ガイド

この表は、作業グループが CCC イニシアティブの課題声明書を作成する際の補助として作成された。一貫性と科学的健全性を確保するために各問題声明書に利用することを推奨する。

課題の提示

その課題を同定・選択した根拠（関係資料に基づく）

質問	関係資料
あなたの課題提示は、根拠に基づき、かつ具体的で定量化できますか？	データソース：
1. あなたの課題提示は以下の項目を考慮していますか？：発生率、死亡率、QOL、格差、インフラストラクチャー	発生率データ： 死亡率データ： QOL： 集団間の格差： インフラストラクチャー・サービス：
3. 当てはまる場合、可能なあらゆる選択肢を検討しましたか（あらゆるがん、介入、特別な集団など）	
4. あなたの課題提示はユタ CCC イニシアティブの任務に関係していますか？どのよう	
集団：タイプ ・民族 ・地域別 ・障害者 ・年齢・性	グループ 問題
作業メモ	

ツール#17「達成目標リトマス試験」

このツールは、SMART の枠組みで計画の達成目標をアセスメントするために用いる。SMART とは、具体的 (Specific)、測定可能 (Measurable)、達成可能 (Attainable)、現実的 (Realistic)、期間限定的 (Time-phased) を簡略化して覚えやすくした呼称である。この枠組みを使った場合、計画達成目標が呼称の各頭文字の示す基準を満たせば、その達成目標は適切であるとみなされる。この枠組みは戦略計画イニシアティブでしばしば用いられる。これらの基準をすべて満たす達成目標を策定すれば、(a) その達成目標に対応する戦略の実施が容易になり、(b) 達成目標が果たされたかどうかを判断するプロセスが簡略化される。

達成目標リトマス試験は、カンザスがんパートナーシップのコア計画チームのメンバーの1人がCDCの提供した資料を基に策定したものである。パートナーシップの作業グループがある計画会議でこのツールを使い、それ以前に策定していた達成目標草案をアセスメントした。作業グループのメンバーは、SMARTの5つの構成要素に対応するチェックリストの各項目に照らして、達成目標草案を再吟味した。カンザスがんパートナーシップの作業グループには、カンザス州保健環境局の職員がファシリテーターとして配属された。ファシリテーターは、これらの活動の行われる計画会議に先立ち、SMARTの枠組みとリトマス試験ツールの使用法に関して研修を受けた。

ツール#17 達成目標リトマス試験

達成目標 (objective) : 目標 (goal) を達成するための具体的かつ測定可能なターゲット

各目標に関して、達成目標がリトマス試験の基準を満たすかどうかを示しなさい。ある目標における各達成目標について1つの列に記入しなさい。

達成目標チェックリスト					
目標 (goal)	達成目標の数 :				
テスト質問	1	2	3	4	5
その達成目標は具体的で望ましい成果を反映しているか？					
達成目標への到達に向けた進捗状況を測定できるか？					
その達成目標は達成可能かつ現実的であるか (計画期間と利用可能な資源を考慮した上で) ?					
その達成目標は、活動ではなく現実的な結果を明示しているか？					
その達成目標への到達に対して具体的な時間枠が設定されているか？					
その達成目標への到達は目標の達成につながるか？					
各目標に対して少なくとも1つの達成目標が設定されているか？					
その達成目標はデータと理論に裏づけられているか？					
作業グループをよく知らない者がその達成目標の意味するところを理解するだろうか？					
その達成目標を満たすことについてだれが説明責任を負うのか決まっているか？*					

* CCCP 参加者にとってこの時点でのこの質問は時期尚早だが、グループは「だれが」ということについて考え始めておいたほうがよい。所与の達成目標のリーダーにはどの機関が最もふさわしいか？

ツール#18「目標および達成目標を選ぶための投票用紙」

目標および達成目標を選ぶための投票用紙は、作業グループまたは委員会の策定した目標および達成目標のうち、どれを最終計画に盛り込むか決めるための選抜と優先順位決定に利用できる。このツールはメイン CCC コンソーシアムのコア計画グループが策定した。コンソーシアムの作業グループは最終的な一連の目標と達成目標を策定し終わると、それを作業グループのカテゴリー別（例、一次予防、早期発見、治療、リハビリテーション・サバイバーシップ、緩和ケア）に構成した一覧表にまとめた。

投票用紙は選んだ目標と達成目標ごとにチェックボックスを付けている。ほかに投票用紙には、組織の代表がそれを達成するための戦略の支援に対する自分の組織の関心または意志を示せるように、各目標および達成目標の横に空欄も添えられている。投票用紙は、計画全体会議に先立ってコンソーシアムの全メンバーに郵送された。この計画全体会議では、コンソーシアムが全体として目標と達成目標に投票を行うことになっていた。計画会議に出席しないメンバーは投票用紙に記入して、「不在者投票」として返送することができた。（対面投票の仕組みとしては正規には用いられないが）計画会議に出席したメンバーには、文書により、会議での投票に先立って目標と達成目標を再吟味する機会が与えられた。会議での投票では、投票用紙と同じ情報を記載した大きな紙が会議室の壁に貼られ、コンソーシアムのメンバーはそれらの紙の前をぐるぐる回って自分の望む項目にしるしを付け、自分の組織の支援を記入した。投票用紙にはコンソーシアムのメンバーに対し、どの目標と達成目標を選択するか考える際には一定の基準を検討するようにとの指示が書かれている点に注意する。この基準の意図は、目標と達成目標の選択を5年の実施期間に取り組むことが合理的に可能なものに限定することである。

ここに紹介するサンプルは実際の投票用紙の短縮版である。実際はこれよりもずっと長い。サンプルでは、作業グループのうち2つ（一次予防と早期発見）に対する目標と関連達成目標とを取り上げている。

記入方法

1. メーン CCC 計画に盛り込むことが重要だと思う目標および達成目標の横にそれぞれチェックマークを付けてください。目標は太字で書かれています。
2. それぞれの達成目標の横にある空欄に次のことを書き込んでください：a) その達成目標を実現するためにあなたまたはあなたの組織が支援を提供できるかどうか（時間、資源など）、および・または b) その達成目標の実現に力を貸すことのできる別の組織またはグループがメーン州にあるかどうか。

注：各作業グループ（一次予防、治療など）につき少なくとも1つの項目に投票してください。また、目標と達成目標を選ぶ際には次の基準を考慮してください。

- ◆ 計画の任務、ビジョン、範囲、価値に関係しているか？
- ◆ 向こう5年以内に達成できるか？
- ◆ その達成目標の実現を手助けできる主体がメーン州にあるか？

I. 一次予防	
目標と達成目標	支援する組織
1. 喫煙を開始する人を大幅に減らし、禁煙に成功する人の数を増やし、受動喫煙を減らす。	_____
1. たばこ製品を利用する成人（18才以上）の割合を減少させる。	_____
2. 妊娠女性の喫煙を減少させる。	_____
3. 一度も喫煙したことのない青少年（9～12年生）の割合を減少させる。	_____
4. 報告年中に保健医療提供者から禁煙を勧められた患者の割合を増加させる。	_____
II. 早期発見	
目標と達成目標	支援する組織
3. メーン州におけるがんサーベイランスを向上させる。	_____
1. 要約ステージ情報（summary staging information）が入力された報告の割合を90%に増加させる。	_____
2. ACOS 認定病院による、アメリカがん共同委員会（American Joint Commission on Cancer）のステージ分類が入力された報告の割合を95%に増加させる。	_____
3. メーン州がん登録の能力を強化する。	_____
4. マンモグラフィー登録の実行可能性を調査する。	_____
5. メーン州がん登録データを利用してメーン州におけるがん対策の改善分野を提案するための組織またはグループを認定する。	_____

ツール#19「利害関係者および地域への情報提供データマップ」（2003年4月改訂）

ケンタッキー州がん登録の作成したマップは、ケンタッキー州における多様な利害関係者にとってのがんの負荷を明確に示す助けになる。州がん登録データを利用すれば、州内でがん介入の実施の必要性が最も高い地域を見つけ出す役に立つ。例えば、ここに示す2つのケンタッキー州地図からは、1991年において州南東部のある地域は女性の早期乳がんの罹患率が低く（緑の部分）、女性の後期乳がんの罹患率が高い（赤い部分）ことがわかる。ある地域に住む女性人口が乳がんのスクリーニング検査を適切に受けていない場合に、この種の病期の現れ方が観察される傾向にある。

ケンタッキー州の地域開発区域別に見た年齢調整がん罹患率 女性早期乳がん患者、1991年

地図（略）

ケンタッキー州の地域開発区域別に見た年齢調整がん罹患率 女性後期乳がん患者、1991年

地図（略）

こうした所見を利用することによって、がん管理の介入の対象をこの地域の50才以上の女性に絞り、彼女らにマンモグラムを受けるよう奨励するという施策につながった。同様のマップでもっと最近のものを見ると、この地域の女性後期乳がんの罹患率は介入後に大幅に減っていることがわかる。州がん登録所のデータは、同じように利用すれば、大腸がんや子宮頸がんをはじめ他のがんスクリーニングを最も必要としている地域を同定することができる。

6.0 評価の実施

このセクションで紹介するツール

ツール#20「計画会議アセスメント・ガイド」

ツール#21「メンバー満足度アンケート」

ツール#22「計画プロセスモニタリングシート」

CCCのビルディング・ブロックの1つは、評価の実施である。この評価はプロセスとアウトカムの両方を含む。このセクションで紹介するツールは、CCC計画プロセスのさまざまな側面をアセスメントするのに利用できる。計画プロセスの初期でも、プロセスのものと後の計画が完成して実施されているときにも利用できる。

ツールキットのほかのツールも、CCCの評価をサポートするのに利用できる。例えば「州のCCC計画のための能力の自己アセスメント」（ツール#1）は、プロセスの最初期に評価用の資源とスタッフを同定するために利用できる。これらの資源とスタッフはいったん確定されれば計画プロセス全体を通じて利用できる。「計画活動の年表」（ツール#3）は計画プロセスを記録することや、実際の進展具合に照らして予測される進展を推定するために「計画タスクのタイムライン」（ツール#2）と比較することができる。「課題声明書作成ガイド」と「達成目標リトマス試験」（ツール#16、17）は、計画プロセス中に策定される達成目標を確実にアセスメント可能なものにするために利用できる。例えば、比較用の基本データの有無や、達成目標が測定可能かどうかの確認に利用する。「活動グループのプロジェクト報告」（ツール#4）と「プロジェクト資金調達提案」（ツール#5）は、特定の実施プロジェクトに関して評価法を明確に示すのに便利であり、プロジェクトの成功を評価するためのおぜん立てをする。

ツール#20「計画会議アセスメント・ガイド」

このツールは、計画主体全体についても委員会および作業グループについても、計画会議をアセスメントして総括するのに利用できる。このツールは、パテルのスタッフが出席したモデル計画州の会議を総括するのに用いた観察ガイドに基づいている。計画調整担当者がCCC計画プロセスの評価と改善を行う際に、このツールを役立てることができる。

計画調整担当者またはコア計画グループは、会議終了後の報告会の手引としてこのツールを利用できる。ガイドに掲げた質問に回答することで、調整担当者は会議の経験から学び、変更または改善する分野を識別し、今後の会議の準備をすることが容易になる。このガイドはまた、計画会議で何が起きているのかの記録をつける役にも立つ。最初の部分は計画会議の実務的な詳細に注目し、会議のセッティングに加えグループ・ダイナミクスを吟味している。後半の部分は、CCCの基礎となるビルディング・ブロックに関する会議のアセスメントに焦点を当てている。この部分の質問は、各ビルディング・ブロックに関して会議中に何を学び何が決定したかを問うている。

ツール#20「計画会議アセスメント・ガイド」

1. セッティングと会議のダイナミクスを振り返る

1. 環境 会議のセッティングまたは環境は適切だったか？ 以下の分野の妥当性について記入する：

- ・会議の場所
- ・座席の配置
- ・視聴覚器材
- ・飲食物または食事
- ・その他

2. 出席 会議の出席率は十分だったか、あるいはどの程度を予想していたか？ 欠席パターンとして代表性または計画イニシアティブの参加的性質に影響しかねないものが見られるか？

- ・出席率の予想と実際の比較：招待者数、返信者数を実際の出席者数と比較する。
- ・代表性：代表されている組織または集団のタイプと範囲（例、病院、保健医療提供者、マネージドケア組織、公衆衛生機関、少数派および十分にサービスが提供されていない集団、がん生存者、健康唱道団体）。
- ・不意のゲストまたは予期せぬ出来事：不定期の参加者または非会員？
- ・その他：

3. リーダーシップ、ファシリテーション、グループ・ダイナミクス 会議のリーダーシップ、円滑な進行（ファシリテーション）、グループ・ダイナミクスを再検討する。

- ・会議のリーダーおよびファシリテーターはこの出来事から何を学んだか？
- ・リーダーシップとファシリテーションについて参加者からどういうフィードバックがあったか？
- ・議事進行はどの程度うまくいったか？ すべての協議事項が取り上げられたか、また時間どおりに進んだか？
- ・会議のリーダーシップとファシリテーションをどうすれば次回会議にはもっとよくなるか？
- ・参加者の関与の度合いに温度差があるように見えたか？
- ・関与度の低い参加者をどのように討議に引き込んでいたか？
- ・どうすれば次回会議には参加者がもっと関与するようになるか？

ツール#20 (続き)

II. CCC ビルディング・ブロック

CCCの基礎をなすビルディング・ブロックに照らして今回の会議を振り返る。それぞれのビルディング・ブロックの詳細については「ガイダンス文書」を参照してほしい。

- 1. インフラストラクチャーの強化** 州保健当局内においてCCCを支援するためのインフラストラクチャーの強化に関して、何が習得され、どのような決定が行われたか？ その決定の結果、州保健当局のCCCに関する役割はどのように変わるだろうか？
- 2. 支援の結集** CCC計画の策定または実施のための資金およびその他の資源に関して、何が習得され、どのような決定が行われたか？ これについては、がん予防・管理に対する州の法的措置に関する問題も含む。
- 3. データと研究の利用** CCC計画を完成するためのデータと研究へのアクセスおよびその利用について、何が習得され、どのような決定が行われたか？ 計画への取り組みに有益なデータ資源としてどのようなものが議論されたか？
- 4. パートナーシップの構築** CCCイニシアティブを中心としたパートナーシップの構築に関して、何が習得され、どのような決定が行われたか？ 会議に出席した（場合によっては欠席した）パートナーがCCCプロセスにもたらしうる専門知識と資源について、何が習得されたか？
- 5. がんの負荷のアセスメント・対処** 自分の州におけるがんの負荷をアセスメントし対処することに関して、何が習得され、どのような決定が行われたか？ 目標と達成目標の策定、優先事項の選択、そしてそのがんの負荷に対処するために計画はどうやって戦略を定めるのかについて、どのような決定が行われたか？
- 6. 評価** 計画プロセスの評価と計画およびその構成要素の実施の評価について、何が習得され、どのような決定が行われたか？ 会議中の議論における目標、達成目標および・または戦略策定の取り上げ方は、プロセスおよびアウトカム評価を容易にするようなやり方だったか？

ツール#21「メンバー満足度アンケート」

このツールは、計画主体のメンバーのフィードバックを求め、計画プロセスに対する満足度をアセスメントするために利用する。このアンケートはイリノイ州のコア計画チームが策定して使用したものである。アンケートは、行動計画が完成した後にイリノイ州の計画参加者全員に一度に配布された。このアンケートは、計画プロセスを評価してその情報を将来の活動の形成に利用するための系統的な取り組みを示す好例である。アンケートでは択一回答と自由回答の質問を組み合わせた様式を用いている点に注目してほしい。このアプローチの場合、調整担当機関のスタッフは容易かつ手短かに要約できる定量化可能なデータを手に入れられるだけでなく、記述式回答によって参加者は自分の回答を説明できるうえに、計画プロセスで得た経験についてより豊富なフィードバックを提供できる。アンケートの最後に2つの質問がある。1つはイニシアティブの改善可能な点について問うもので、もう1つはイリノイ・パートナーシップがCCCを討議するためにどのくらいの頻度で再召集すればよいかを問うものである。これらの質問に対する答えは、調整担当機関がその後の活動、特に計画の実施に関わる活動の準備をし、進展状況のレビューを実施するのに役立つだろう。

ツール#21 年次メンバー満足度アンケート（2000年5月1日）

返信期日：2000年5月19日

氏名： _____

所属機関名： _____

イリノイ CCC パートナーシップの様子についてぜひご意見をお聞かせ下さい。各項目について、パートナーシップの側面に関するご自身の満足度を最もよく表す数字に丸をつけて下さい。もしあればご意見を書き添えて下さい。このアンケートの結果は、パートナーシップの将来の方向性に関する決定を行う際に参考にします。10分だけ時間をいただき、このアンケートに記入して返信下さい。ご協力ありがとうございます。

あなたの満足度は……

パートナーのメンバーについて	非常に 不満	やや 不満	わから ない	やや 満足	非常に 満足
1. メンバーの多様性	1	2	3	4	5
2. がんに関心および・または専門知識のある組織の代表性	1	2	3	4	5
3. 他のパートナーまたはそのパートナーが代表する組織と提携する機会	1	2	3	4	5
4. 新メンバーを進んで迎える態度	1	2	3	4	5
5. あなたの個人的・組織の関与	1	2	3	4	5
意見					

ツール#21 (続き)

あなたの満足度は……

雰囲気について	非常に 不満	やや 不満	わから ない	やや 満足	非常に 満足
6. 友好的、冗談が言える、親切	1	2	3	4	5
7. ほかのメンバーからの協力	1	2	3	4	5
8. みんなの意見をちゃんと聞く	1	2	3	4	5
意見					

あなたの満足度は……

コミュニケーションについて	非常に 不満	やや 不満	わから ない	やや 満足	非常に 満足
9. CCC プログラムについてイリノイ州公衆衛生局が提供する情報	1	2	3	4	5
10. CCC プログラムに関してイリノイ州公衆衛生局と連絡をとることができる	1	2	3	4	5
11. CCC プログラムについての意見や関心を伝える機会	1	2	3	4	5
意見					

あなたの満足度は……

リーダーシップ	非常に 不満	やや 不満	わから ない	やや 満足	非常に 満足
12. CCC の向かうべき先に関するビジョンの明確さ	1	2	3	4	5
13. リーダーの強さと能力	1	2	3	4	5
14. パートナーがリーダーの役割を担う機会	1	2	3	4	5
意見					

ツール#21 (続き)

あなたの満足度は……

計画	非常に 不満	やや 不満	わから ない	やや 満足	非常に 満足
15. 優先順位決定のためのインプットを用意するために用いる計画プロセス	1	2	3	4	5
16. パートナーシップの勧告の遂行	1	2	3	4	5
17. 6つの最優先事項をパートナーシップが決定する際のプロセス	1	2	3	4	5
18. パートナーシップの決定した6つの最優先事項	1	2	3	4	5

意見

あなたの満足度は……

プロセス	非常に 不満	やや 不満	わから ない	やや 満足	非常に 満足
19. 会議の回数	1	2	3	4	5
20. 会議の場所	1	2	3	4	5
21. 会議の内容	1	2	3	4	5
22. 会議が成し遂げたこと	1	2	3	4	5
23. 行動グループの活動(社会の認知と教育、データとサーベイランス、政策とインフラストラクチャー、がんケアアセスメント、資金調達と資源)	1	2	3	4	5

意見

24. この協働の取り組みの効果を最も改善するために何か1つ変えるとすれば、それは何でしょうか?

25. イリノイがん予防・管理パートナーシップの会議はどのぐらいの頻度で開くのがよいでしょうか? (1つ選ぶ)

年に1度 半年に1度 それより多い

ご協力ありがとうございました。回答は 2000年5月19日までをお願いします。

ツール#22「計画プロセスモニタリングシート」

モニタリングシートは CCC 計画プロセスの主な活動を追跡するためのツールである。シートには CCC 計画プロセスの全ての計画活動が記載されている。また、それらの活動のおおよそのスケジュールと実際に遂行された日付を記録するためのスペース、および活動の遂行責任者を記録するスペースも提供されている。各活動についてコメントを記録するスペースも設けてある。

モニタリングシートは、ガイダンス文書に述べた CCC のステージ、ステップ、活動（ガイダンス文書第 9 節の表 9.1 参照）に沿って構成されている。ツールには 3 つの表があり、それぞれが次にあげる CCC 計画プロセスの主要 3 ステージに対応している。

- ・第 1 ステージ 基礎を築く
- ・第 2 ステージ CCC 計画の構成要素を策定する
- ・第 3 ステージ CCC 計画を完成させる

それぞれの表には、関連する計画活動が記載されている。各活動の横の括弧内の略語は、その活動の該当する CCC のビルディング・ブロックを示している。第 1 ステージの表を例にとると、「インフラストラクチャーのニーズと能力をアセスメントする」という活動は「調整担当機関の計画実行能力の開発」という局面を示す見出しの下にある。さらにこの活動には「(EI)」という略語が付いており、「インフラストラクチャーの強化」というビルディング・ブロックに関係していることを示している。

計画調整担当者は、計画プロセスを軌道から外さないためのプロセス評価ツールとしてモニタリングシートを利用できる（プロセス評価についての詳細はガイダンス文書第 8 節を参照）。シートはこの機能を幾通りかの方法で果たすことができる。

- ・主要な計画活動が遂行されていることを確認する。
- ・計画プロセスが時間どおりに進行していることをモニタリングする。
- ・計画活動の実施への参加を誓約した組織および個人で、誓約どおり実施に参加している者を記録する。

計画調整担当者はこのツールを各自の計画プロセスに合わせて自由に改造し、必要であれば活動の追加や修正も行うべきである。

(訳注) 略語は、EI (インフラストラクチャーの強化)、MS (支援の結集)、DR (データと研究の利用)、BP (パートナーシップの構築)、AA (がんの負荷のアセスメント・対処)、CE (評価の実施) である。